

令和2年度 学力向上グランドデザイン



いわき市立桶売小学校

本校児童の実態

- NRTテストから(R2.2 実施)
＜国語科 偏差値平均 56.0＞
▲「話すこと・聞くこと」
▲「読むこと」(物語文)
＜算数科 偏差値平均 60.2＞
▲数と計算(小数の計算)
▲図形(拡大図)
- 主体的に学ぶ態度が身についてきている。
- 学習習慣の個人差が大きい。

教育目標

- 進んで学ぶ子ども(知)
- 健康でたくましい子ども(体)
- みんなで助け合う子ども(徳)

めざす児童像

- 確かな知識や技能を身につけた児童
- 思考・判断し、自分の考えを伝える児童
- 進んで他と関わり、共に高め合う児童

いわき市教育委員会

- 次代のいわきを担う、「生きる力」を身に付けた子どもの育成
「夢に向かってチャレンジする子ども」
- ・Activity
体験活動・学習支援活動の推進
- ・Base
教育の土台の充実
- ・Care
子どもたちの命を守る取組の充実

実践事項および指導体制

＜授業の充実＞

- 1 日々の複式指導の充実
「わかる・できる複式授業」
・「桶売プラン」による授業充実と学び方の指導(一人学びの力の育成)
・主体的・対話的で深い学びの実現
・活用力を育む授業デザイン
・教科横断的な視点でのカリキュラムマネジメント
- 2 個に応じた指導
・自分の考えを伝える場の設定
・基礎的・基本的事項の確かな定着のための習熟の時間の確保

＜指導力の向上＞

- 1 校内研修の充実(小中連携)
・主題に基づいた授業研究会の実施
・授業スタンダード、授業チェックリストの活用
・小中での互見授業の実施
- 2 各種研修会への参加
・先進校の実践等に学ぶ機会
・喫緊の教育課題への対応
・伝達講習会による研修内容の共有

＜授業を支えるその他の取組＞

- 1 学習環境づくり
・桶売タイム、チャレンジタイムの実施
・読書環境の整備(司書・ST活用)
- 2 家庭との連携
・家庭学習の充実(家庭学習スタンダード)

PLAN

確かな学力を身につけた桶売小の子ども

DO

ACTION

CHECK

指導の改善

- 1 単元テスト到達度80%未満児童への個別指導
- 2 全国学力・学習状況調査、県学力調査、NRT 学力調査の結果に基づく授業改善、指導の重点化
- 3 カリキュラムの見直し・改善
- 4 学力向上グランドデザインの改善
- 5 指導力向上に向けた現職教育の活性化
- 6 家庭との連携の強化
・家庭学習の質の向上と習慣化
・基本的生活習慣の確立

結果の分析と評価

- ・各単元末テストによる評価
- ・全国学力・学習状況調査、県学力調査、NRT 学力検査等に基づく学力の実態把握
- ・授業での観察・記録(理解・説明・活用・定着確認シート)
- ・ノートや作品等による評価
- ・学期末漢字大会および計算大会における定着度
- ・学校評価アンケート(保護者・児童)
- ・各種調査(読書活動、ICT活用等)



BASE

学力を支える基盤

- 親和的・支持的風土の醸成
・互いに認め合える学級づくり
- 基本的生活習慣の確立
・早寝早起き朝ごはん、手伝いの励行
- 体力向上、健康教育の充実、
・体力づくりの習慣化、保健指導・食育の充実
- 生徒指導の機能を生かした教育活動の展開
・いじめ・不登校の防止(所属感、自己有用感の醸成)
- 地域の素材・人材の活用
・地域の物的・人的資源を活用した体験活動の充実
・地域行事への参加・協力
・地域の方々や地区小中学校との交流活動の充実